

町民の皆様へ

先週末、教育現場で発生しました新型コロナウイルス感染に関する事案について、ご報告いたします。

5月15日(土)、本町教育委員会所属の外国語指導助手 ALT が PCR 検査で陽性となり、新型コロナウイルス感染の疑いで入院措置が取られました。

これを受け、当人の行動歴から授業等で関わりのある学校関係者(小学3年生以上と中学生全員、各校の教職員)について迅速な対応が必要と判断し、翌16日(日)には橋本保健所および高野山総合診療所協力のもと、対象者134名へのPCR検査を実施いたしました。

この結果「児童生徒と教職員、すべて陰性」というもので、17日(月)夜に橋本保健所から報告を受けました。

更に ALT 当人については、入院後に行った2回の再検査が『陰性』であったことから、17日中に退院したことを確認しております。

以上のことから、自宅待機は必要がなくなり、本日18日(火)には学校再開ができたことに関係者一同安堵しているところです。

しかしながら、PCR検査で子供たちに怖い思い、痛い思いをさせてしまいました。本当にごめんなさい。保護者ご家族の皆さまにも大変なご心配をお掛けいたしました。

教育現場での感染拡大、そして、町内での感染拡大を防ぐため、最大限のスピード感を持って対応に努めた結果ではありますが、心からお詫びを申し上げます。

また、ALT については『感染者でない』とご認識をいただき、温かく迎え入れていただきますよう切にお願い申し上げます。

令和3年5月18日

高野町長 平野 嘉也